

スターシップHD

M&Aの可能性を判定

格付けシステム開発

北陸を中心にM&A(企業の合併・買収)の仲介などを手掛けるスターシップホールディングス(HD、金沢市)は23日までに、自社の企業価値や譲渡の可能性を簡便に判定するシステム「M&A格付けツール」を開発した。同社ホームページから無料で利用でき、M&Aを検討する中小企業などに役立ててもらいたい考えだ。

新システムは、貸借対照表や損益計算書などの「定量情報」だけでなく、自社の現況に関する「定性情報」についても30の質問にYESかNOで答えるのが特徴。入力した情報に基づき、M&Aをする場合の譲渡の可能性を「AAA」など7段階で評価する。

スターシップHDの情報、ノウハウを生かして開発された。「定性情報」まで入力して判断するシステムは業界初という。1回当たりの所要時間は5〜10分程度で、手軽に試すことができる。同社は「せっかく魅力のある事業を手掛

ながら後継者不足で廃業する企業が多い。無料の簡易ツールを使って、事業承継につなげたり、今後の経営戦略に役立ててもらいたい」としている。

専用サイトは<http://www.starship-hd.co.jp/magra-detool/index.html>